

愛生福祉会だより

2011年
新年号

ふれあい



兎の作品コンテスト
最優秀賞

はぎのデイサービスセンター
共同作品

「はぎの丸」

おおうなばらへ

ああ

こきだせ!!

もくじ

- 表紙
兎の作品コンテスト最優秀賞
- 理事長新年のあいさつ/
合同消防訓練……………P2
- 兎の作品コンテスト……………P3
- いきいきマイライフ/
謹賀新年……………P4
- 名古屋市老人福祉施設作品展/
文化祭……………P5

- 秋の風物詩
庄内の里第2デイ/田谷の里/
中小田井/集い/愛生苑……………P6-7
- これからの高齢者のケアを考える…P8-9
- 職員成長記……………P10
- ふれあい随想リレー/
トピックス……………P11
- 在宅サービス広場……………P12

新年にあたり

社会福祉法人 愛生福祉会
理事長 増井 勇夫



明けましておめでとございます。
年頭にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

昨年は、明るいニュースから暗いニュースまで色々ある年となりました。記録的な猛暑で熱中症にかかる人が続出し、死者まで出る酷暑に地球温暖化による気象の変化に地球の未来に警鐘を発しているように感じざるをえません。

明るいうニュースとしては、小惑星探査機「はやぶさ」が地球への突入温度1万度という熱さを耐え、小惑星の微粒子を地球に持ち帰ったり、またノーベル化学賞では二人の日本人が有機化合物の革新的な合成法を開発し医薬品製造やエレクトロニクス分野で、さまざまな新しい物質の合成を可能にした功績が評価され受賞されたりと、未来へとつながる素晴らしい功績であったといえます。

さて、本年は介護保険制度改正を翌年に控え、大きな変化、小さな変化、様々な角度から見直しがされると思われます。

例えば、特別養護老人ホームの介護職員による医療行為の規制緩和。これは、一定の条件に基づき、痰の吸引や、チューブを通じて体内へ栄養を送るなどの「医療的ケア」が介護職員でも行えるように法整備が進められています。他にも要介護認定手続きの簡素化、有料老人ホームと高齢者専用住宅の法的三元化、高齢者専用住宅の積極的整備、末期がん患者の利用手続きの簡素化、地方自治体が賃貸する公営住宅について、高齢者や障害者向けのグループホームなどとしての利用の大幅緩和策など、多くの改正が見込まれています。

また、当法人としても新たな試みとして、365日24時間の切れ目のないコールセンターを設け、オペレーターを配置、24時間対応の通報システムを自宅に設置し、緊急時にはそのボタン一つ押すだけでコールセンターにつながり、オペレーターが瞬時に判断しヘルパー派遣など必要な人に必要なサービスを必要な時に提供できる訪問介護事業の実施を計画しております。

必要な時に必要なサービスが受けられなければこれからの福祉の未来は語ることはできないと考えます。私どもの法人では、長年の慣れで実施してきた事が本当にこれで良いのかどうか見直し、改善できるところは改善し、さらに新しい事にも挑戦し体制を整え、サービスがより充実し速やかに実施できるようにして参りたいと願っております。

最後になりますが、皆様様の日頃からのご支援ご協力に心より感謝を申し上げますとともに、御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

西消防署 中小田井消防団 庄内の里 11月11日

合同消防訓練

11月11日のよく晴れた日に、庄内の里で消防車が5台も出動する程の大規模な防災訓練が行われました。職員が要救助者となり、長いはしごを実際に使用し、2階から救助を行ったり、煙幕を実際に使用して放水したりと迫力満点の訓練でした。避難訓練に参加された皆様も、「初めて近くで消防車を見たわ」と迫力ある大規模な訓練に圧倒されていた様子で、寒い中とても真剣な表情で訓練に参加されておりました。冬は乾燥して火事の多い季節なので、これを教訓により防災意識を高めていきたいと思えます。



中小田井消防団

はしご車はじめ消防車 5台出動
大規模な訓練となりました。



兔の作品コンテスト

第二回となる干支にまつわる作品コンテストは、今年もお正月にふさわしい素晴らしい作品がたくさん集まりました。



はぎのデイサービスセンター

「はぎの丸」利用者様共同作品

昔よく作った毛糸のボンボンがウサギに大変身!好きな色の目や耳の個性が光るウサギが大集合♪はぎののみんなも元気でピョンピョンとはぎの丸に乗り、2011年へ いざ出発!!

最優秀賞

審査員コメント

大きな「はぎの丸」という船に、ご利用者が個々にうさぎを作ったのせるといふ発想は、アイデアセンスと施設の一体感を感じました。この素晴らしい宝船のように、今後も力を合わせて素敵なお作品を作り続けてください。



優秀賞

安田 荘

「ようやくできたうさぎ (伊勢型紙)」 堀和子様 (利用者様)

これまでたくさんの習い事をしてきましたが、この伊勢型紙だけは熱を入れてやってきました。賞をいただけたのも、教えてくれた先生のおかげと感謝しています。

審査員コメント

細かな部分まで丹念に仕上げられており、今にも動き出しそうな躍動感を感じます。熟練された技巧が、高評価となりました。



優秀賞

グループホーム中小田 井

「兔のクッション」 中村たね子様 (利用者様) 浅見和子 (職員)

暖かさを感じるクッション。ソファカバーのあまり布、着物の布を再利用して作りました。

審査員コメント

かわいらしい兔のクッションは、エコリサイクルのアイデアも取り入れられています。見た目のかわいらしさと同様に、技術の高さとアイデアセンスに審査員の票を多く集めました。



個人作品から共同作品、利用者の方と職員が共に作った作品ありと今回も多彩な作品が集まりました。ありがとうございました。兔年というところでかわいらしい作品が多く、創意工夫をこらした暖かさいっぱい作品たちに、編集部審査員一同大変迷いましたが、このような結果となりました。応募していただいた作品は、各施設で展示して皆様楽しんでいただきました。

はぎのデイサービスセンター

「着物をはおったウサちゃん」

近藤いつ子様 (ご利用者様)

なかなか上手に出来なかったけど…、かわいいですか?

審査員コメント

新年にぴったりの端整なこの作品も、審査員の多くの支持があがりました。この兔のほらかな笑顔が、きっと今年の世相に反映されることなのでしょう。

佳作



鳩の丘

「なかよし なかま」

渡辺興子 (職員)

佳作



空いている時間を作って、2ヶ月程で完成しました。その時の気分で、一つ一つみんな顔が違います。両脇をフリーザーで飾りました。

審査員コメント

色とりどりの兔をたくさん作っていただきました。かわいらしさと、兔の表情の豊かさが好印象を受けます。

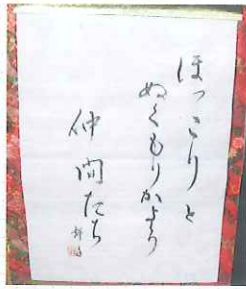
いきいきマイライフ



今回は、はぎのデイサービスご利用の方と、
鳩の丘に入所されている方のご家族をご紹介します。

「書道」

はぎのデイサービス利用者
中村 鐸子様(八十七歳)



鐸子さんが初めて筆を手に入れたのが、小学校時代の書道クラブ。その時、表彰状を戴いて「書道」の楽しさを覚えたそうです。丁度その時、母親が「書道の腕前は父親ゆすりね。あなたのお父様は教員をへて小学校の校長先生をしていたこともあり、とても字の上手な人だったのよ。」と、話してくれた事を今でも覚えてみえるそうです。父親は鐸子さんが生後半年で亡くなられ、兄姉も歳が離れており皆巣立っていたので、母一人子一人の家庭で育ったそうです。学校を卒業してからは戦争や仕事、三人の子の子育てなどで精一杯になり、なかなか筆を持つ事が出来なかつたそうです。平成十年に、はぎのデイサービスを利用された時、ケアマネージャーから「何かやりたい事、趣味はないですか？」と、声をかけられ書道の事が頭に浮かんだそうです。はぎのデイサービスで、愛生苑の稲垣先生を紹介させて頂き、久しぶりに筆をとられ今年で十二年、かかさず書を書き続けられています。今では先生とのやりとりだけではなく、月一回の旦那様へのお参りにはご自身で書かれた写経を毎回ご持参されているそうです。

鐸子さん曰く、「書道」は自分の時間を楽しむことが生活の一部。「あまり父親を意識した事はないのですが、今自分が書道を続けられているという事に運命的な物を感じるそうです。

これからも、お父様ゆずりの腕前を発揮し、素敵な作品を見せて下さいね。



「私の健康法」

鳩の丘ご入居者ご家族
岩田とく様(八十四歳)

それは毎日鳩の丘に通うこと

「今日は冷えるねー。」と今日も岩田とくさんが、夫の雄さんに会いに鳩の丘にやって来られました。雨にも負けず、風にも負けず、雄さんが鳩の丘に入所されてから5年間、365日ほぼ毎日通って見えます。

「私も膝を悪くしてね、そんなに無理は出来ないけど。行きは時々バスに乗ってくるけど、帰りは隣のマックスハリユー(スーパーマーケット)で買物して歩いて帰ることが多いね。片道歩いて30分。丁度いい運動だわ。天気が悪いと今日はどうしようかなと思うこともあるけど、家の近所は買物するところがなくなっちゃって、どうせ買物行くならお父さんのところへ会いに行かなくちゃね。」と笑いながらとくさんはお話して下さいました。「幸せですね。一雄さん。」と声をかけると、「一雄さんも微笑んでいらつしやいました。」

鳩の丘ではお部屋で静かにラジオを聴いたり、リビングでテレビを観たり、職員との雑談を楽しんだりして、午後からのひとときを一緒に過ごされています。

これからもお二人で仲良く、鳩の丘でのゆったりとした時を過ごしていただけたらと職員一同願っています。



平成22年敬老の日に(米寿祝いの賞状をもって)

〈今年の抱負〉

賀年 謹新

今年のと生まれの皆様に抱負を書いたいただきました。
みなさんの、今年一年に懸ける意気込みが伝わってきますね。



御桜乃里ご利用者様
小林 きりの様(96歳)



田谷の里ご利用者様
藤岡 千江子様(84歳)

名古屋市老人福祉施設作品展

昨秋、十月十日から十四日に名古屋市民ギャラリー矢田にて開催された作品展にて、五施設と二人のご利用者様が素晴らしい賞を頂きました!!



名古屋市老人福祉施設協議会長賞

はぎのデイサービスセンター



名古屋市老人福祉施設協議会長賞

鳩の丘



愛知県共同募金会長賞

愛生苑



個人賞

庄内の里 第2デイサービスセンター

深田きぬ子様

99歳で個人賞、
来年の百寿では最優秀賞狙います!!



東海テレビ賞

デイサービスセンター筒井



東海テレビ賞

庄内の里

愛生苑

吉五郎太鼓様の
太鼓は迫力満点!

★本格的な
太鼓の舞★



庄内の里

歌など
ボランティアさんの
出し物で会場も
大盛り上がり!

名古屋相模
甚句会の皆様



谷の里

ウクレレとギター演奏
に皆様口をそろえて
歌って頂きました。



文化祭

11月3日の文化の日に合わせて各施設で文化祭が行われ、今年も利用者様と職員の多種多様な見事な腕前の作品が並びました。ご家族や近隣の方々に多数お越しいただき、賑やかな一日となりました。

鳩の丘

特別養護
老人ホーム

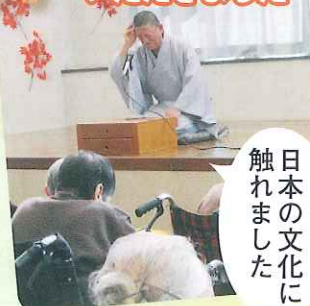
模擬店の食事を
楽しんだ後は
マジックショーで
お楽しみ!



御桜の里

Mizakura no Sato

大垣落語の会様を
お呼びし、
落語を披露して
いただきました



日本の文化に
触れました

風物詩

秋の

市内の
第2デイサービスセンター

名古屋の月見団子

九月二十二日水・二十三日木に
お供え用と食べる用の二種類の
月見団子を二グループに分かれて作りしました。



まずは
粉をこねて...



横からの
アップ

お供え用
古屋の
名月
は芋名月
にちなみ
里芋の
形に作ら
れます。
団子の中
には餡が
入ってお
らず、砂
糖のみを
入れたシ
ンプルで
甘い団子
です。尾
張・名古
屋では昔
は里芋を
供えたこ
とから、
お月見を
芋名月と
呼んでい
ます。



夫婦で
記念撮影



作りま
したを
食べる
用



やっばり
一番だわ

Q 十五夜と十三夜はどう違うの？
A お月見は中国から伝わり、旧暦の八月十五日に平安時代の貴族が歌を優雅に詠んだことから「十五夜」と言われています。また、旧暦の九月十三日を月を鑑賞する風習を「十三夜」と呼び、これは日本独特の歳時であると言われています。

みんなで計画した！ 日帰り旅行

矢合観音
アクアトぎふ(淡水魚園水族館)
一宮138タワー

11月11日秋晴れの中、日帰り旅行に出掛けました。今回の旅行は、お年寄りが行きたい場所「海へ行きたい泳ぎたい」「懐かしい所がいいわ～昭和村行きたいな」など色々意見がとびかいました。みんなの希望をかなえるべくお年寄り職員とが一緒に考えこのような盛り沢山な1日となりました。



一宮138タワー



お土産屋さんでは、
名物の草餅を
買っていました。



こんな近くで
アシカが見られるなんて
感激！

矢合観音の井戸水は
万病に効くと
言われています。

138
タワーの下で撮りました。
展望台からの眺めは最高です。
高くてちよこ恐かったかな...

愛生苑

運動会



学ランで
学生気分♪

借り物
衣装競争

まさに運動会日和の晴天の下、大きな声援と笑い声が響いていました。みなさん、筋肉痛は大丈夫でしたか？

パン食
競争

集いの紅葉狩り

今年八事にある興正寺に行ってきました。真っ赤に燃え盛るような紅葉の下で、秋をしっかり堪能してきました。



秋空の下で
気分も晴ればれ☆



立派な五重の塔が
ありました。

この橋は
微妙(みみょう)
の橋と呼ばれ、
お寺の入り口に
あります。

この橋を渡れば、
法華経の功德により、過去に犯した罪などが
清浄化されると言われています。
中には5回も渡ってきたという人もいました。

里の 焼イモ会

秋の味覚 焼イモ会

暑かった一日が徐々に涼しさを増し、季節は夏から秋へと変わりました。秋と言えば食欲の秋。そこで皆様に美味しい物を食べて頂くと思いい、焼イモ会を開きました。



私、新聞でくるものは
得意だよ！



そろそろ
どうかしら？

ホッカホカ焼きイモ完成！

ホクホクの
焼きイモは
甘くておいしいわ。

今回の焼イモ会を通し、季節のうつり変わりを感じて頂けたかと思えます。中には懐かしい味に昔の事を思い出される方もおられ皆様楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

「これからの高齢者のケアを考える」

■ 食事が食べられなくなった時

人は食事をして栄養を摂り生きています。年を重ねると嚥下機能(飲み込む力)が低下し、食事の際にムセ込んだり誤嚥をしやすいくなります。予防のためには、普段から歯みがきやうがいなどを行い、口腔内を清潔にすることや、健口体操が有効です。健口体操とは毎食前に行う顔や肩、首などの筋肉をほぐす簡単なリハビリ体操です。しかしながら加齢や病気により口から食事が摂れなくなってしまうことがあります。そんな時には、どのような方法があるのでしょうか。皆様の疑問にお答えします。

健口体操の一例

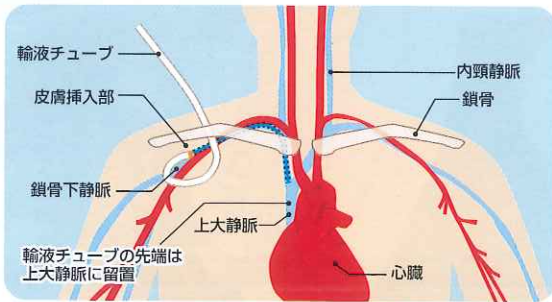
- ① 唾液腺のマッサージ(耳下腺)
人差し指から小指までを頬に当て、上の奥歯のあたりを後ろから前に向かって回します。(5回)
- ② 頬・唇の運動
唇を閉じて、頬をふくらませたりゆるめたりします。
次に唇を閉じたまま突き出し、上下左右に動かしたり、引き締めたりします。
- ③ 発声練習(バタカラ体操)
バババ、タタタ、カカカ、ラララ、バタバタ、カラカラと歯切れ良く大きな声で発声します。(3回)

Q. どのような方法があるの？

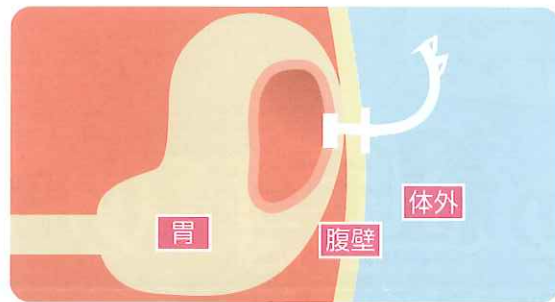
A. 胃瘻(いろう)やIVH「中心静脈栄養」(高カロリー点滴)があります。胃瘻とは、お腹から胃にカテーテル(管)を通し、栄養を胃に直接入れる方法です。IVHとは、太い血管(鎖骨下静脈等)にチューブを挿入し栄養を補給します。

Q. 利点や欠点は？

A. 利点は肺炎になる確率の低下や体力の維持が期待できます。欠点として胃瘻では発熱、嘔吐、下痢、皮膚のトラブル、腹膜炎などがあります。IVHではチューブが直接血管に挿入されている為、菌が血管内に入ると敗血症となる事があり病院での治療が必要になります。



中心静脈栄養の図



胃瘻の図

今後の方向性

今までは胃ろうなどの経管栄養やたん吸引は、医療従事者(看護師)に限定されていましたが、施設でも指導看護師の指導を受けた介護職員が経管栄養や口腔内のたん吸引を行うことができるという方向性が国から出されています。

愛生福祉会でも、まだ体制は整っていませんが、実施の方向で勉強会等を始めています。



▲経管栄養・吸引の勉強会

施設での看取り

現在、日本では医療の進歩と共に医療に依存するお年寄りが増え、自宅での介護は限界もあり、最期の時を病院で迎えるお年寄りが八割以上となっています。

愛生福祉会では病院での治療が望めない、若しくは望まないお年寄りが施設で最期を迎えられる「看取りケア」の体制づくりを積極的にとりこんでいます。

私たちは「その人がその人らしく最期まで生きる為に」を目標に、本人様や家族様により思い出ができるよう日々ケアにいそしんでいます。

その思いから、「昨年より「看取り緩和ケア委員会」が発足し、勉強会を開催しています。

様々な人生がある中で、その人らしい人生が全うできるよう、その方を見つめ、寄り添い、一人一人が最後の時に悔いが無いよう、これからもよりよい環境を提供し、日々努力してまいります。

理事長より開会のあいさつ



鳩の丘嘱託医 青木紀生先生より講演



▲「看取り緩和ケア事例発表会」
平成22年11月10日／参加人数約90名



庄内の里 事例発表
介護主任 大橋 圭 看護師 西村 功

「特別室」



▲庄内の里「特別室」ベッドのある居室のとなりに和室があり、(ミニキッチン、トイレバス付)ご家族に泊まっていただけます。

一人淋しく誰にも看取られることなく、旅立たれるのではなく、残されたわずかな時間の中を、家族や最愛の人と共に最期の時を迎えることができるようにとの願いから「特別室」を設けています

事例

W・M様

庄内の里

平成21年6月4日に甲状腺癌を再発され、82歳と高齢で手術は厳しく辛い為、御家族は積極的な治療を望まれず施設での看取りを希望されました。又、癌と告知する事は御本人にとって精神的に耐えきれないとの御家族の配慮から告知しない事になり、私たちはいつもと変わらない生活を提供することで御本人が安心した日々を送れるように努めました。

御本人は食べる事が大好きで、お花見へ行きお弁当を食べたり、御家族と共に大須観音へ参拝に行き、商店街でうなぎを食べたりし、笑顔ですごされました。癌が進行しても日常生活は比較的自由に立っていた為、ショッピングなど外出行事を多く行い、御本人の楽しみに繋げていきました。施設でも大好きな昭和の歌謡曲や童謡を聴きながら歌い、楽しんでいただく事で不安にならないよう配慮しました。

しかし、癌が進行するにつれ出来ていた事が出来なくなっていました。その事に御本人がなるべく気がつかないよう少しずつ支援を増やすことで不安が軽減できました。

御本人が患った癌は通常一年以上の生存は稀でしたが再発より1年5ヶ月経過された平成22年11月9日穏やかな表情で最期の時を迎えました。

「苦痛なく最期を迎えたい」。それは誰も望みだと思いません。私たちが出来る事はほんの少しかもしれませんが、何が出来るのかを考え続け、その方との信頼関係を築き安心した生活ができるよう励んでいきたいと思えます。

職員成長記

～力を発揮するためのシステムづくり～

愛生福祉会では、職員育成に力を入れて成長に合わせた研修システムを実施しています。ただ学ぶだけではなく、自らが考え積極的に行動できるような工夫を凝らし、職員一人ひとりが自分の力を発揮できるようサポートを行っています。

参加者のコメント

自衛隊研修では、一人ひとりに与えられている役割をそれぞれが責任を持ってやり遂げることで、本当のチームワークがうまれることを学びました。訓練の中で責任感や協調性の大切さも実感し、相手を思いやる心を育てられたと思います。この経験を活かし、思いやりの心を持って仕事に取り組んでいきたいと思えます。



丘 幸子
八軒屋 幸子

教官の話真剣に聞いています



自衛隊研修

緊張高まる三日間を仲間と共に過ごします。チームワークや時間の大切さを学ぶこの自衛隊研修は、今後の原動力となります。

命の大切さを実感する救命講習



福祉の知識、社会人としてのマナーを学びます。ワークブックと少しの不安。仲間と一緒に乗り越えましょう。

新人職員フォローアップ研修 秋 冬

一年間の振り返りと、これからの成長に必要な、基本を勉強します。来年からは、先輩のその為のステップです。



入職
～1年

参加者のコメント

リーダー研修では、接遇マナーやレポート作成など、今後の自分にとっても参考になる内容を楽しみました。また、法人施設のリーダー職員と同じような悩みや目標を話し合うことができ、今後も頑張っていかなければと、前向きに考えられるようになりました。



御桜乃里
今井 あゆみ

先輩からのコメント

研修は今の自分を見直す良いチャンスです。学んだことを活かし、日々の業務や後輩指導、何より利用者様のためにこれからも頑張ってください。

名刺交換の練習中



好印象を目指します。

次世代のリーダーを育てることを目的としています。これからの自分に必要なことは何か、考えるいい機会となります。

グループワークで意見交換



活発な発言の中、議論を深めていきます。KJ法など新たな手法を学び、今後活かしていきます。

リーダー
4年～

担当者のコメント

これらの法人研修を経て成長した職員は、自分の学んだことを伝える役目を持つようになります。福祉社会を担う一人として、皆さんの力となるよう今後も努力していきますので、活躍にご期待ください。

二級ヘルパー養成講座

法人内の職員が講師となり豊富な経験をもとにわかりやすく講義を行います。



法人研修の講師

受講者のニーズに合わせたプログラムを構成し、熱意を込めて講義をします。

後輩の育成

人の尊さや介護技術など、大切なことを日々の仕事の中で伝えていきます。



ふれあい 随想リレー

其の3

今回は、愛生苑の歴史をすべて知っている、介護職伊藤みの子さんです。いつも笑顔でお年寄りに接していて、とても働き者。ご家族の信頼も厚く、伊藤さんに育ててもらった若いスタッフの数も数え切れません。愛生苑のおかあちゃんです。



愛生苑 介護職
伊藤みの子

平成二年四月一日。福祉の専門学校を卒業したの、新資格「介護福祉士」を持ったはつらつとした男女が、「夢と希望に満ちた」表情で、愛生苑へ入社してきました。「介護福祉士」という国家資格が、まだ耳新しく一般には、あまり知られていなかった中に、学歴も資格も無く、不安いっぱいでしたが、「学校卒業したばかりの二十歳ぐらいの人達と、一緒に夜勤もするんですが、大丈夫ですか?」と、当時の増井施設長(現理事長)の言葉を覚えています。それでも何か無性に嬉しくてしかたなかった記憶があります。そのとき四十九歳でした。

あれから二十年余り、本当にたくさんの人との、嬉しい出会いがあり、同時に悲しい別れがありました。どうしても忘れることが出来ない人も、数えきれません。「ご飯食べたか? あんたも食べな」が口癖のYさんのご家族は「愛生苑さんのお陰で商売を続けさせてもらえます。本当に感謝しています。」と私たち職員にも気を使ってくださいました。最近ではご夫妻共、愛生苑から旅立っていかれましたKさん。「まんま、まんま」と職員を見て手招きされる姿。ずーっと忘れることが出来なと思います。ご家族から丁寧な感謝のお手紙を頂き、介護職員にできるおもいです。



15年程前の運動会。
応援に力を入る伊藤さん

私も七十歳に手が届きますが、理解ある上司、同僚、優しいお年寄りに囲まれ、皆に助けられながら、働かせて頂ける事にただただ感謝しています。

愛生福祉会 トピックス

様々な事業や活動を行っている愛生福祉会の最新情報をご紹介します。

愛生福祉会
これからの予定

一月 節分

二月

ひな祭り・新人研修

四月 お花見

鳩の丘で

改修工事

が行われました。

新しく十一部屋(入所用)を増築いたしました。準備が整いしだい、新しい入居の方をお迎えする予定です。改修に伴い新しいお風呂も導入しました。



新しい部屋



機械個浴

横浜 田谷の里メンバー



愛知メンバー



喜びの声

平成十五年創刊以来作り続けて約十年。おりしも法人創立二十周年記念号集大成で受賞することができ、感無量です。五施設五人ではじめた編集委員会も、施設が増えるたびに委員も増え、今ではこんなに大きくなりました。これからも地域の皆様に情報発信して頂ける広報紙を目指してがんばります!

二〇〇九秋号
ふれあい優秀賞受賞
全国老人福祉施設協議会
広報コンテスト



広報紙「ふれあい」広報コンテスト 優秀賞受賞!

平成二十二年 全国老協二〇〇広報コンテスト 広報紙部門で全二百六作品の応募の中から優秀賞に選んで頂きました。

在宅サービス広場

〈訪問入浴〉

愛生福祉会では三事業所の訪問入浴車が活躍しています。

訪問入浴とは…

訪問入浴とは、専用の浴槽を装備した訪問入浴車でスタッフがご自宅に訪問し、入浴に介護が必要な、高齢者等の方にご自宅のお部屋で入浴していただくサービスです。



「黄色いのが、浴槽です。浴槽は半分に分解できるので、車に積むことも楽々☆」



「後部座席から見た車内です。お湯を沸かすポイラーやシャンプー・リンス等も全て積むことができます。」



愛生苑



サービス範囲



南波 洋美

時間に余裕を持って訪問させていただくので、ご本人に合わせてゆっくりとした入浴を楽しんでいただけます。看護師による軽いリハビリや、シーツ交換などのアフターサービスも充実しております。お試し利用も歓迎です。

庄内の里



サービス範囲



加藤 光宏

訪問入浴庄内の里においては、利用者様のあらゆるニーズにお応えするべく、介護のプロとして利用者様にきめ細やかで愛のあるサービスを提供できるように心がけております。

御桜乃里



サービス範囲



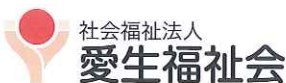
水田 雄一郎

心も温まる入浴を心掛けています。訪問入浴車が小型の為、狭い道にある家にも訪問することができます。

ふれあい新年号 編集後記

2010年は広報コンテストで優秀賞を頂くことができ、とても感慨深い年でした。2011年卯年は私の干支、年女になります。若い職員に負けずに、ウサギのように跳びはね、飛躍の年にしたいと思います。今年もどうぞ「ふれあい」をよろしく願いたします。

鳩の丘 北村瑞穂



法人
事務局

〒462-0025
名古屋市北区鳩岡町一丁目7番地20
TEL 052-916-3759
FAX 052-916-3756
http://www.aiseifukusikai.jp

愛生苑

- 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)
〒462-0011 名古屋市北区五反田町108-2
TEL (052)901-7621 FAX (052)901-7911

庄内の里

- 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)
〒452-0822 名古屋市西区中小田井二丁目98番地
TEL (052)505-1165 FAX (052)505-1161

鳩の丘

特別養護老人ホーム

- 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)
〒462-0025 名古屋市北区鳩岡町一丁目7番地20
TEL (052)916-3755 FAX (052)916-3756

御桜乃里

Mizukura no Sato

- 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小六丁目124-2
TEL (0587)95-8151 FAX (0587)95-8680

日谷の里

- 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)
〒244-0844 神奈川県横浜市栄区田谷町1364番地2
TEL (045)852-0012 FAX (045)827-3866

安田荘

はきのデイサービスセンター

デイサービス筒井センター

庄内の里 第2デイサービスセンター

グループホーム 小田井

グループホーム デイサービスセンター 集

- 軽費老人ホーム
〒466-0857 名古屋市昭和区安田通二丁目4番地の2
TEL (052)762-1638 FAX (052)752-7292
(名古屋市指定管理者制度受託)

- デイサービスセンター
〒462-0026 名古屋市北区萩野通一丁目26番の1
TEL (052)916-5758 FAX (052)916-5512

- デイサービスセンター
〒461-0003 名古屋市東区筒井一丁目2番1-1号
TEL (052)938-0065 FAX (052)938-0070

- デイサービスセンター
〒452-0822 名古屋市西区中小田井三丁目389番地
TEL (052)504-3301 FAX (052)504-3302

- グループホーム
〒452-0822 名古屋市西区中小田井五丁目240番地
TEL (052)509-7717 FAX (052)509-7727

- グループホーム・デイサービスセンター
〒463-0078 名古屋市守山区瀬古三丁目830番地
TEL (052)793-7004 FAX (052)793-7014